

本市における災害福祉の取組について

1 大規模災害における課題と国の動向

(1) 近年の大規模災害

- 高齢者・障害者等が、より大きな被害を受ける傾向が顕著
- 平成28年熊本地震においては、直接死50人に対し災害関連死は218人で、被災者への適切な支援等が重要

(2) 国の動向

ア 令和元年台風第19号等を踏まえた高齢者等の避難に関するサブワーキンググループ最終とりまとめ（令和2年12月24日）

- 高齢者等の避難支援を実効性のあるものとするためには個別計画策定が有効
- 福祉避難所を事前に公表し、予め受入対象者を特定し、高齢者・障害者とその家族のみが避難する施設であることを明確化 など

イ 災害対策基本法の改正（令和3年5月10日公布・同月20日施行）

- 個別避難計画について市町村に作成を努力義務化 など

ウ 福祉避難所の確保・運営ガイドラインの改定（令和3年5月20日）

- 指定福祉避難所の指定及びその受入対象者の公示
- 指定福祉避難所への直接避難の促進 など

2 本市における災害福祉対応の体制整備とその対応

災害福祉調整本部の設置など、災害福祉対応に関して、現在改定を行っている地域防災計画（風水害対策編）に新たに盛り込んでおり、今年度体制整備予定

(1) 災害福祉調整本部の設置【令和3年度本部設置・ガイドライン策定】

ア 目的

市内の入所系施設を中心とした高齢者、障害者に係る社会福祉施設や災害時要援護者等の情報を集約し、地域の関係機関や他都市、国との連携を深め、この分野における的確な判断と迅速な対応が行えるよう体制を整える。

イ 設置基準（災害対策本部と同じ設置基準）

- 市内で震度6弱以上の地震を観測したとき
- 市内で地震による大規模な被害が発生し、または発生するおそれがある場合
- 市内で災害が発生し、または発生するおそれがある場合（風水害・都市災害）

ウ 役割

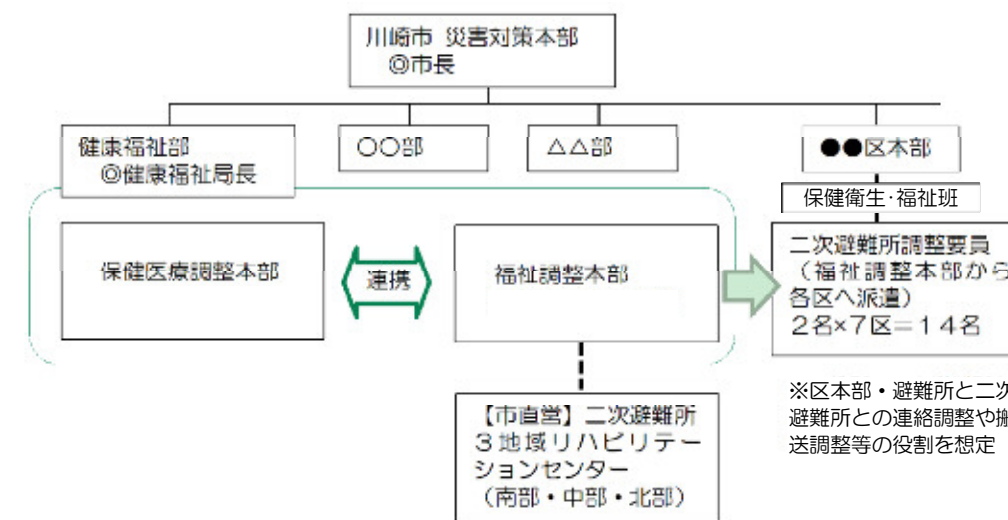
- 社会福祉施設の情報集約
- 被災した社会福祉施設への支援
- 他都市からの災害時の福祉活動チーム、介護専門職等の受入調整
- 各区の災害時要援護者等の情報収集
- 二次避難所の開設・運営に関する総合調整
- 緊急ショートステイの受入・運営に関する総合調整
- 情報の整理及び分析等の総合調整やマネジメント
- 本部会議等への報告

エ 本部要員構成等

- 本部要員は、長寿社会部・障害保健福祉部・地域包括ケア推進室に所属する職員のうち、応急対策要員等に指定されている職員で構成
- 本部長は、本部の指揮・統括を行い、震災時は上記3部室長のうち、最初に参集した者が本部長を務める。

※災害福祉調整本部の位置付け等

災害福祉調整本部を健康福祉部内に設置し、市内社会福祉施設の被災状況等を迅速に把握することなどにより、保健医療調整本部と連携し、災害時に時間とともに変化する被災者等のニーズに的確に対応



(2) 災害時情報伝達・収集体制

関係局区や社会福祉施設、福祉関係団体との間で、災害時における円滑な情報受伝達を図るため、平時から、川崎市災害時高齢者・障害者施設情報共有システム（通称「E-Welfiss」）を中心に、電話、MCA無線、電子メール、防災アプリ等の複数の手段を組合せた情報伝達及び情報収集体制を整備し、発災時において災害福祉調整本部が機能できるよう取組を進める。

ア 災害時高齢者・障害者施設情報共有システム（通称「E-Welfiss」）

入所施設を中心とした高齢者、障害者に係る社会福祉施設約100施設と災害福祉調整本部、区役所、関係団体などを繋ぐ、情報共有システムを導入

順次状況が整ったところから運用を開始

(ア) 特徴

- 施設の被災状況や、二次避難所の受入れ可否等の情報を収集・集約
- システムに接続する関係者が各施設の情報を閲覧可能
- 今後施設間の相互支援等に活用することを検討
- PC・タブレット等で閲覧可能



システムを活用した情報共有イメージ

(イ) E-Welfiss を活用した情報伝達訓練

開発中のシステムを利用し、令和3年9月2日に風水害を想定した情報伝達訓練を実施。今後も随時訓練を実施予定

※参 加

高齢者・障害者入所施設 9 9 施設中 8 6 施設が参加
健康福祉局、3 地域リハビリテーションセンター、区高齢・障害課

※協力関係団体

川崎市社会福祉協議会老人福祉施設協議会・川崎市老人福祉施設事業協会
川崎市介護老人保健施設連絡協議会・川崎市障害福祉施設事業協会

(3) 災害福祉調整本部と区本部保健衛生・福祉班との連携

各区本部保健衛生・福祉班のうち、災害福祉調整本部と連携して取組を実施する福祉班の役割は次のとおり。

【福祉班の役割】

- 災害時要援護者のための二次避難所の設置及び運営に関すること。
- 災害時要援護者の安全確保に関すること。
- 災害時要援護者の状況調査に関すること。
- 災害時要援護者の情報に関すること。
- 二次避難所となる施設との連携に関すること。

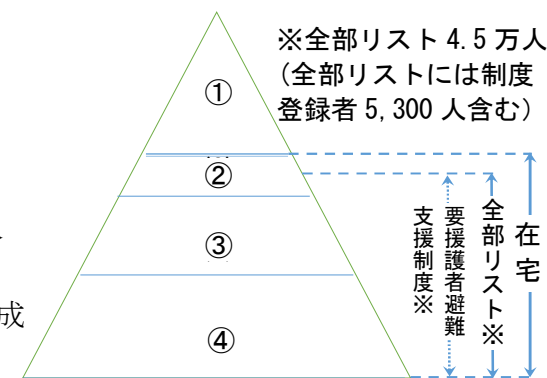
※二次避難所連絡要員

災害福祉調整本部は、二次避難所連絡要員2名を各区本部の保健衛生・福祉班へ派遣する。二次避難所連絡要員は、区本部と避難所及び二次避難所との連絡調整並びに災害時要援護者等の搬送調整等を行う。

(4) 発災時における要援護者の状態に応じた対応

【災害時要援護者の状態】

- ① 施設入所者：計 19,000 人
障害者 2,000 人、高齢者 17,000 人
- ② 在宅医療的ケア児・者：154 人
※人工呼吸器が必要な方 46 人
- ③ 在宅福祉サービス利用者 13,000 人
※障害者について、約 2,000 人を対象に優先度の高い方から個別避難計画を作成
- ④ 福祉サービス未利用者 31,000 人



ア 施設入所者への対応

- 施設管理者が平時から災害に備えるよう、「業務継続計画」「非常災害対策計画」等の策定率向上を促進
- 災害時高齢者・障害者施設情報共有システム等による情報共有を行い、施設管理者と連携して、状況に応じた安全確保支援等を実施

イ 在宅医療的ケア児・者への対応

○発災時の電源確保事業

大規模災害による停電時の緊急対応として、人工呼吸器を装着している医療的ケア児・者に対し、本市が用意するプラグインハイブリッド車から、医療機器の外部バッテリーへの充電ができる制度（令和3年7月開始）

ウ 在宅福祉サービス利用者への対応

(ア) 避難計画（優先度の高い方から順次作成）

a 災害時における個別避難計画の作成

(a) 概要

令和3年5月、災害対策基本法の改正により、5年後を目途として、災害時における個別避難計画の作成が自治体に対し努力義務化されたことなどを踏まえ、本市では災害が発生し、又は災害が発生する恐れがある場合に、避難行動に支援が必要な災害時要援護者に対し、災害時の具体的な避難方法や安否確認の円滑化などを目的として、災害時個別避難計画の作成を行う。

(b) 作成対象者

次の項目に掲げる者に対し、優先度を定めて作成を進める。

- ①市内在住の障害福祉サービス利用者で、障害支援区分4以上の者
- ②市内在住の障害福祉サービス利用者で、移動支援、同行援護、行動援護を利用する者
- ③市内在住の介護保険サービス利用者で、要介護度3以上の者
- ④その他市長が必要と認める者

(c) 今後の進め方

- 障害者に関しては、原則として障害支援区分6の方を最優先にして、在宅福祉サービス利用者のうち、約2,000人を対象に、令和4年1月21日から順次作成
- 高齢者に関しては、令和3年度においては、内閣府が実施している「個別避難計画作成モデル事業」を実施し、優先度が高い対象者像や、作成プロセスなどを検討。令和4年度以降、詳細な分析・検討を実施し、対象者の計画を作成

(イ) 避難先の確保

a 一次避難所要配慮スペース

- 市内176か所の指定避難所に、高齢者や障害者等を対象とした「要配慮スペース」を設置

b 二次避難所（対象：施設入所レベル達しない方）

- 3箇所の地域リハビリテーションセンター(南部・中部・北部)を直営で開設
- 備蓄物資に関して、民間高齢者・障害者入所施設約100施設にアンケートを3回実施し、御意見を踏まえながら、現時点で、二次避難所として受入可能と回答のあった約60施設を中心に、年度末までに次のとおり配置予定
 - ① 新型コロナウイルス感染症の感染対策を踏まえた環境整備を目的に、簡易テントや簡易ベット、携帯トイレ袋等の資器材を配置
 - ② 発災後の円滑な二次避難所開設のため避難者用3日分の食料・水を配布
 - ③ 大規模停電時の施設における通信手段等の電源確保を目的に、ポータブル電源等を配置

- 二次避難所開設・運営（基本）マニュアルに関して、福祉調整本部の設置、情報共有システムの導入、発災前の備蓄物資配布等の取組を反映させるため、関係団体、施設等の御意見を踏まえながら、令和３年度改訂予定

ｃ 災害時緊急入所（対象：施設入所レベルの方）

- 介護保険法や障害者総合支援法に基づく入所基準に該当する要援護者の受入れを想定
- 本市が認めた大規模災害時には、施設等が短期入所の定員を超過して避難者を受け入れたとしても、介護保険・障害者福祉サービスの減算対象とならず、通常の請求を可能とする。

エ 福祉サービス未利用者への対応

- 避難先については福祉サービス利用者と同様
- 避難については、マイタイムラインを活用して御自身の状況を把握し、予め避難行動を整理
- 災害時要援護者避難支援制度に登録している場合、地域における共助による避難支援

３ 今後検討を要する主な課題等について

（１）指定福祉避難所の指定について

- ３箇所の地域リハビリテーションセンターにおいて、先行して取組を推進
- 指定福祉避難所と一般の避難所の役割の整理や地域等への周知のほか、避難先の調整等の課題の整理、検証などを行うことにより、指定福祉避難所の指定及び円滑な開設、運営に向けた取組を推進

（２）災害時要援護者避難支援制度と個別避難計画との整合

- 基本的に個別避難計画が優先されるが、両制度の整合を段階的に図る。

（３）災害時要援護者の移動支援

- 一次避難所から二次避難所への移送など、災害時要援護者に対する移動手段の確保等について、関係事業者、関係局区と連携して検討

参考資料 1

2 救助要請一覧画面

令和3年台風第16号

災害種別
風水害

現在の地域
川崎市

中心気圧
935hpa

発生日時
2021/07/31 10:00

システム管理者
システム管理者 (TGES)

救助要請管理

施設追加

メイン画面へ戻る

絞り込み設定

【地域】川崎市

【地域】幸区

【施設】特別養護老人ホーム・短期入所生活介護

地域

状態

種別

体制	救助	施設ID	区名	状態	施設名	住所	種別	救助要請	被害	更新日時
		0001	川崎区		介護老人福祉施設 恒春園	川崎区小川町10-10	特別養護老人ホーム			2021/11/30 15:11:46
		0010	幸区		特別養護老人ホーム 夢見ヶ崎	幸区南加瀬1-7-4	特別養護老人ホーム		有	2021/11/26 13:10:30
		0003	川崎区	対応中1	特別養護老人ホーム 境町フェニックス	川崎区境町11-9	特別養護老人ホーム			2021/11/30 15:11:46
		0004	川崎区	対応中2	介護老人福祉施設 大師の里	川崎区日ノ出2-7-1	特別養護老人ホーム		有	2021/11/28 08:35:10
		0005	幸区		特別養護老人ホーム ゆとりあ（従来型）	川崎区殿町1-11-10	特別養護老人ホーム		無	2021/11/30 15:11:46
		0013	幸区	対応中2	地域密着型特別養護老人ホーム こむかい	幸区小向仲野町1-3	特別養護老人ホーム		医療費負担・差	2021/11/30 15:11:46
		0012	川崎区	対応済	介護老人福祉施設 みんなと暮らす町	幸区東古市場116-12	特別養護老人ホーム			2021/11/30 15:11:46
		0002	川崎区		高齢者福祉施設 しおん	川崎区本町1-1-1	特別養護老人ホーム			2021/11/30 15:11:46
		0006	川崎区		社会福祉法人セイワ 介護老人福祉施設 桜寿園	川崎区桜本2-39-4	特別養護老人ホーム			2021/11/30 15:11:46
		0007	川崎区		介護老人福祉施設 ビオラ川崎	川崎区小田栄2-1-7	特別養護老人ホーム			2021/11/30 15:11:46
		0008	幸区		特別養護老人ホーム 川崎ラシクル	川崎区日進町5-1	特別養護老人ホーム			2021/11/30 15:11:46

施設一覧出力

救助状況マップ

3 二次避難所・ショートステイ一覧画面

令和3年台風第16号

災害種別
風水害

現在の地域
川崎市

中心気圧
935hpa

発生日時
2021/07/31 10:00

システム管理者
システム管理者 (TGES)

二次避難所・ショートステイ管理

臨時避難所追加

メイン画面へ戻る

絞り込み設定

【地域】川崎市

【地域】幸区

地域

種別

受入状況

〇〇〇〇報告書ダウンロード

避難所ID	区名	施設名	住所	種別	二次避難所 受入状況	二次避難所 受入世帯数	二次避難所 受入可能数	ショートステイ 受入状況	ショートステイ 受入人数	ショートステイ 受入可能数	更新日時
0001	川崎市	介護老人福祉施設 恒春園	川崎市小川町10-10	特別養護老人ホーム		12世帯	50世帯				2021/11/30 15:11:46
0010	幸区	特別養護老人ホーム 夢見ヶ崎	幸区南加瀬1-7-4	特別養護老人ホーム		50世帯	140世帯				2021/11/26 13:10:30
0003	川崎市	特別養護老人ホーム 境町フェニックス	川崎市境町11-9	特別養護老人ホーム		150世帯	200世帯		0人	20人	2021/11/30 15:11:46
0004	川崎市	介護老人福祉施設 大師の里	川崎市日ノ出2-7-1	特別養護老人ホーム							2021/11/28 08:35:10
0005	川崎市	特別養護老人ホーム ゆとりあ (従来型)	川崎市殿町1-11-10	特別養護老人ホーム		0世帯	150世帯		2人	10人	2021/11/30 15:11:46
0013	幸区	地域密着型特別養護老人ホーム こむかい	幸区小向仲野町1-3	特別養護老人ホーム							2021/11/30 15:11:46
0012	幸区	介護老人福祉施設 みんなと暮らす町	幸区東古市場116-12	特別養護老人ホーム		7世帯	80世帯		10人	10人	2021/11/30 15:11:46
0002	川崎市	高齢者福祉施設 しおん	川崎市本町1-1-1	特別養護老人ホーム		180世帯	250世帯				2021/11/30 15:11:46
0006	川崎市	社会福祉法人セイワ 介護老人福祉施設 桜寿園	川崎市桜木2-39-4	特別養護老人ホーム		80世帯	130世帯		8人	30人	2021/11/30 15:11:46
0007	川崎市	介護老人福祉施設 ビオラ川崎	川崎市小田栄2-1-7	特別養護老人ホーム		90世帯	100世帯		23人	25人	2021/11/30 15:11:46
0008	川崎市	特別養護老人ホーム 川崎ラシクル	川崎市日進町5-1	特別養護老人ホーム		20世帯	60世帯				2021/11/30 15:11:46

施設一覧
出力

二次避難所・
ショートステイ
マップ

4 連絡機能

令和2年台風28号

災害種別 風水害	警戒の地域 東海・関東南部	中心気圧 910hPa	本部設置日時 2020年9月28日9:00	[避難情報発令中]	システム管理者 システム管理者_admin1
-------------	------------------	-----------------------	--------------------------	-----------	---------------------------

連絡機能

新規連絡作成
絞り込み設定

Q

部署

連絡種別

カテゴリ

発信・受信区分

☐ 至急のみ ☐ 重要のみ ☐ 優先のみ

優先	発信者	受信者	内容	ステータス
★	システム管理 者	地域支援班 他	【指示・要請】 各避難所の職員参集人数、被害状況、開設可否を避難所管理機能にて報告してください。	表示中
	システム管理 者	各班連絡員	【連絡】 画像をご確認ください。	連絡済
★	統合テスト 用	システム管 理者他	【指示・要請】 市内の各所のパトロールを開始してください。	未読
★	システム管 理者	地域支援班 他	【指示・要請】 各避難所の職員参集人数、被害状況、開設可否を避難所管理機能にて報告してください。	表示中
★	システム管 理者	地域支援班 他	【指示・要請】 JRをはじめ、鉄道各社の運転再開見込みは未定です。	表示中
★	システム管 理者	その他関係 施設他	【重要】【指示・要請】 各避難所の職員参集人数、被害状況、開設可否を避難所管理機能にて報告してください。	表示中
★	川崎市都市 計画課	システム管 理者	【連絡】 本日XX:XXに市長を本部長とする災害対策本部を設置しました。	未読

グループ 全 9班 (対応済 2班)

対応状況：全 9件中
 未対応 7件
 対応済 2件

連絡ID: 0037-00

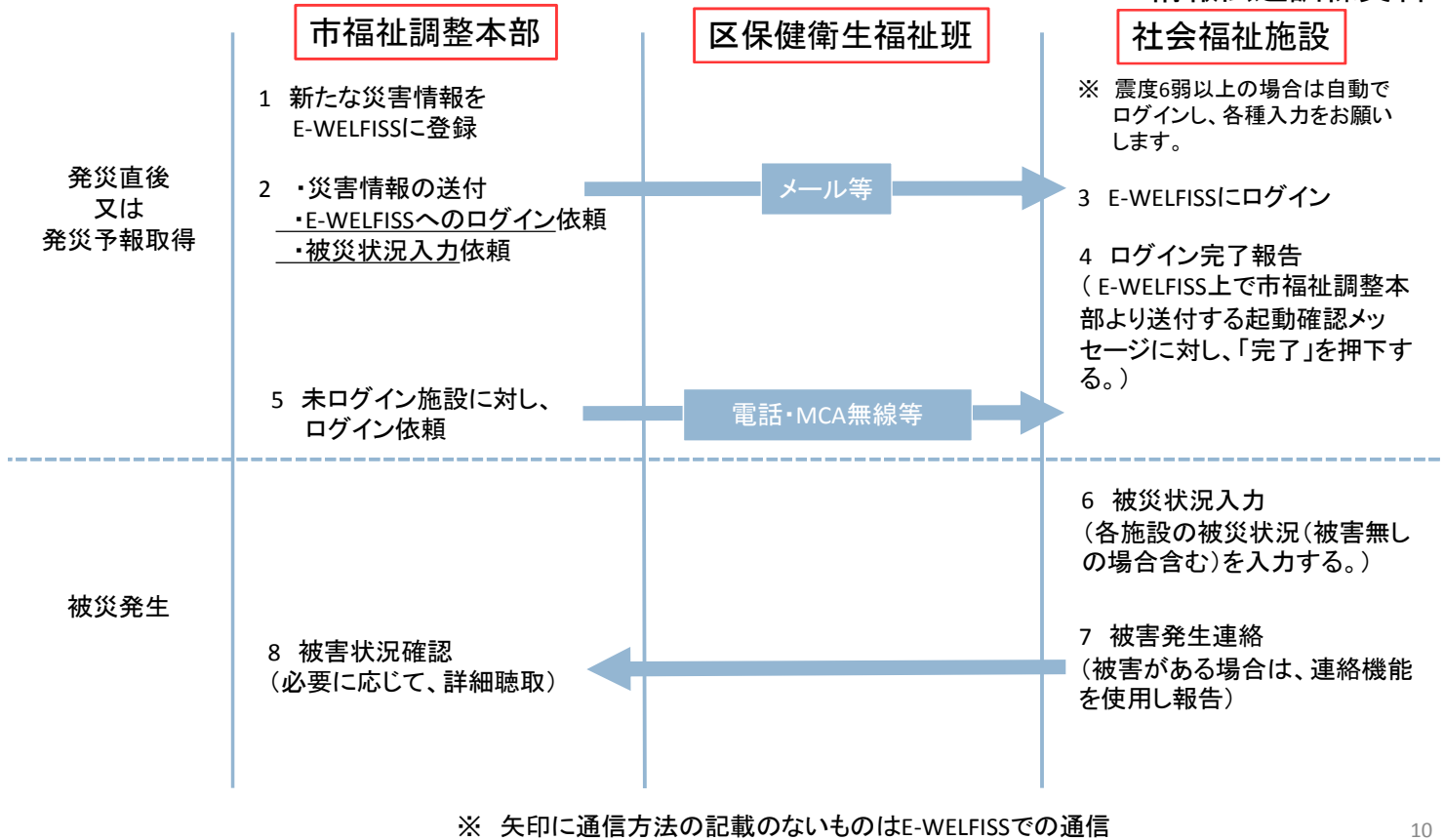
2021/04/14 18:43:16
各避難所の職員参集人数、被害状況、開設可否を避難所管理機能にて報告してください。

2021/04/14 18:45:52 ×
了解

ID	時刻	時刻
0041-00	2021/04/14 16:00:04	2021/04/14 16:30:57
0042-00	2021/04/17 07:41:44	2021/04/17 07:41:44
0043-00	2021/04/14 18:43:16	2021/04/14 18:45:52
0044-00	2021/04/08 12:21:00	2021/04/08 12:21:00
0045-00	2021/04/05 12:42:18	2021/04/05 12:42:18

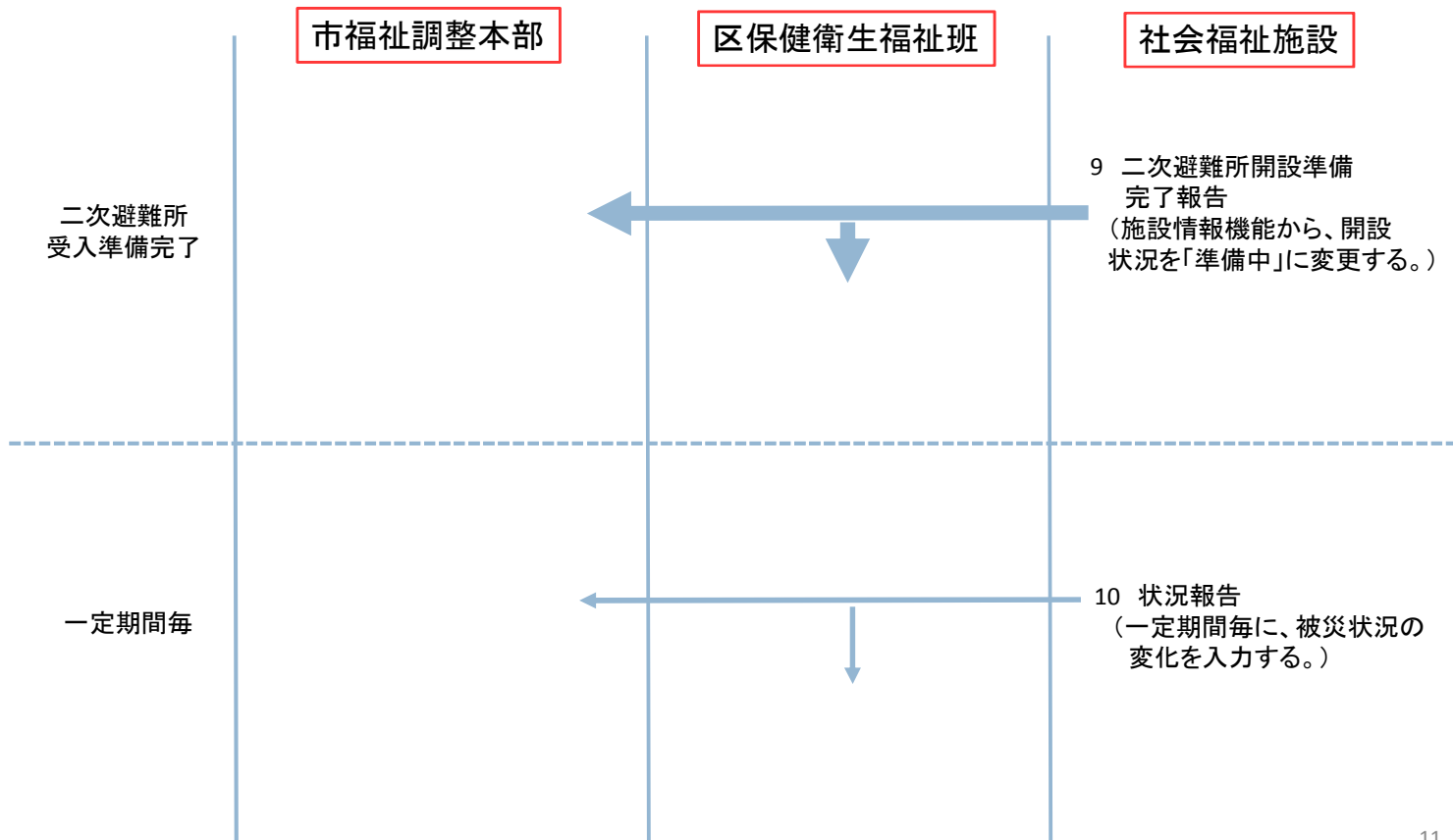
防災ポータル | 被害状況マップ

2-1-1. E-WELFISSを用いた情報伝達の流れ(社会福祉施設)① まずは被害状況の入力を！



10

2-1-2. E-WELFISSを用いた情報伝達の流れ(社会福祉施設) ② 一旦は、開設準備完了報告の入力まで！



11